

平成23年9月21日
6時40分

土砂災害随時情報（奈良県十津川流域） 第8号

奈良県知事 殿
五條市長 殿
十津川村長 様
野迫川村長 様

近畿地方整備局長

河道閉塞に係る、土砂災害随時情報（第8号）についてお知らせします。

（栗平の水位計の異常について）

【問い合わせ先】

国土交通省近畿地方整備局河川部河川調査官
国土交通省近畿地方整備局河川部河川計画課長
直通06-6945-6355

中込 淳
吉田 一 亮

栗平の水位計の異常について

(1) 水位計について

- ・栗平は、水位計の1号機を9月9日に設置し、その後水位が徐々に上昇。
- ・水位計の計測限界が40mであることを考慮し、今後の水位計測に支障を来さないために、新たに9月18日に2号機を設置。
- ・2号機は、1号機より更に岸よりの浅い箇所に設置。

(2) 水位計の異常について

- ・栗平の水位計(1号機)は、9月21日0:00の計測(水深:26.16m)を最後に10分データが欠測。
- ・2号機は9月21日0:00に6.88mを計測した後に、異常値と思われる水深を計測し、1:30より欠測。

＜参考：2号機の水深データ＞

9月21日 0:00	6.88m
9月21日 0:10	25.87m
9月21日 0:20	40.00m
9月21日 0:30～1:20	40.00m
9月21日 1:30～	欠測

(※水位計の計測限界は40m)

- ・投下型水位観測ブイ2号機に搭載されたGPSを用いてその位置情報を分析。GPSの測位精度は低いものの、9月21日0時以降、その位置が当初の投下地点より約100m北方に移動している可能性があることが判明。
- ・水位計は、崩壊地からの更なる土砂の崩落により損傷した可能性がある。

(3) 下流の状況について

1) 河道のカメラ映像による監視

- ・カメラは栗平川本川を上流側に向けて設置(河道閉塞箇所より下流約7km)。
- ・9月21日0:30頃から下流水位は増加傾向であるが、土石流等は確認されていない。
- ・現地周辺では、同日0時以降強い降雨(10mm/hr)を観測しており、河道閉塞箇所以外の流域(残流域)からの流出があることを考えても下流水位の増加傾向は、異常な現象であるとは考えられない。

2) 二津野ダム の状況

- ・二津野ダムの流入量について、20日23時以降に異常な数値は計測されていない(残流域を考慮しても現実的な数値となっている)。
- ・二津野ダムの水位計についても異常な数値を示していないことを確認(電源開発((株))確認)。

(4) 今後の対応策

- ・天候回復後に、ヘリによる上空からの観測を速やかに実施
- ・気象条件が許せば、更に1台の投下型水位観測ブイの投入を計画

平成23年9月20日21:00～21日1:30までの栗平地区の河道閉塞における投下型水位観測ブイの測位データについて



- ★:栗平1号機(9/21 0:00以降通信途絶)
- ★:栗平2号機(9/21 1:30以降通信途絶)

0 0.5 1 km